

2024年7月14日

「私の目にあなたは」

イザヤ書 43:1-7

早川 真牧師

ここでは、神がご自分の選びの民であるイスラエルの民をどのような眼差しで見られておられるのかということが示されています。それは価値高く、貴いものとして見ていてくださるということです。

一体なぜイスラエルはそれほどまでに神の目に価値ある存在なのでしょう。それは神がイスラエルの民を造られたから、ということに尽きるのだと言えます。神様は、御自分の計画を為すためにイスラエルの民を造られました。それは、やがて全ての民が神の民となり「わたしの目には、あなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」と呼ばれるようになるというご計画でした。

キリストは十字架にかかり、私たちの身代わりとなって命を献げてくださいました。それは、神が御自分の独り子を惜しまないほどに私たちを愛し、私たちを危険から救い出し、保護するためでした。1節で、ヤコブ、イスラエルと呼ばれているのは、一人の人の名前ではなく、イスラエルの民のことを表しています。その民全体に対して、今朝の箇所、神は価値高く、貴い者よと語っておられます。このヤコブ、イスラエルとは教会のことを意味しています。教会とは建物のことではなく、制度のことでもありません。教会はイエス・キリストを信じる人々のことです。そしてイエス・キリストを信じる人々とは、神によって呼び出された者たちです。「わたしの目にあなたは高価で尊い。わたしはあなたを愛している。」という神の声によって呼び出された者たち、それが教会です。私たちを造り、また危険から救い出すために最愛の独り子をも惜しまなかった、この父なる神の愛の眼差しに、今週も共に生かされてまいりたいと思います。